

ベネズエラ

分断を乗り越え、より公平な社会をめざし、  
反帝国主義の道を進もうと世界に呼びかけます

ロシア十月社会主義革命から一〇五周年を迎えるにあたり、活動家集団思想運動に友愛のご挨拶を申し上げます。

一九一七年十月に起きた出来事は地球規模の激震をもたらし、世界に巨大な影響を与え、そうしてロシア十月社会主義革命は二〇世紀を一変させました。

近年、人類は喫緊の課題や困難に直面しています。不平等、飢餓、気候危機、自然災害、それに新たな感染症の脅威などです。こういった大きな不確実性に加え、今、大国間での核による対立という人類最大の脅威にさらされています。

世界の平和を、根源的な原則として捉えなおす必要性に迫られています。ベネズエラから、南半球から、核兵器のない平和地帯を宣言したラテンアメリカ・カリブ地域から、わたしたちは世界に呼びかけます。分断を乗り越え、世界の政治に多極秩序を取り戻しましょう、と。

一九九八年八月十二日、ベネズエラ・カラカスのアカデミアス宮殿からの演説にて、当時のウゴ・チャベス・フリアス大統領候補はこう宣言しました。

「二一世紀の世界がもう地平線から顔を覗かせつつある。二極でもなく、一極でもない。ありがたいことに、多極的な世界だ。」

多極的な世界の出現によって、一国主義の例外主義から生じる脅威にさらされない、より公平で平等な世界秩序が保証されるのです。

思想運動のメンバー各位に、ベネズエラとベネズエラの革命への連帯に感謝申し上げます。

そして、今年のロシア十月社会主義革命の記念日を迎え、わたしたちの反帝国主義の道を改めて表明します。

また、連帯、協力、相互補完、社会正義による世界の構築に向けて良い未来を創るべく尽力し、すべての人にとってより多くのチャンスのあるより公平な社会を実現するというわたしたちの意志を改めて表します。

二〇二二年十一月五日、東京に於いて

セイコウ・イシカワ（駐日ベネズエラ・ボリバル共和国大使）  
（見出しは編集部による）